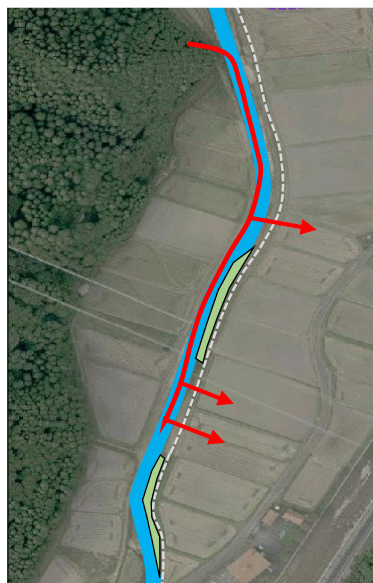


水稲栽培における「メッシュガイシ」を活用したイノシシ侵入防止対策

1 取組の背景

- 西粟倉村筏津地区の水田では、近年、イノシシがワイヤーメッシュ柵（以下、WM柵）を掘り上げて侵入する被害が発生しています。
- 前年にドローンを活用して被害実態調査を実施した結果、イノシシがほ場横の河川を移動し、川側のWM柵（右図灰色点線）の下を潜って侵入していることが判明しました。
※右図赤色線は侵入経路
- そこで、既存のWM柵に「メッシュガイシ」を活用して、柵線を追加した複合柵による侵入防止対策の実証を行いました。



イノシシの侵入経路



河川反対側のイノシシ



河川を移動するイノシシ
（ドローン撮影）

2 実証内容(設置方法)

- 既存のWM柵の交点にメッシュガイシを装着した。
（4m間隔が目安）
- イノシシの警戒心を高めるため、電線は地上から30cmと50cmの高さに2段で設置した。



地上
50cm

地上
30cm



- メッシュガイシを活用した電気柵は、右図黄色線のとおり、設置した。
- メッシュガイシを設置するに際し、川沿いの一部は伐採困難な竹藪に覆われており（以下、竹藪エリア）、電気柵が竹に接触して漏電することが懸念された。
- このため、竹藪エリアへの電線の架設には被覆電線を活用し、漏電を防いだ。
※ただし、竹藪エリアでの電気柵防護効果はない。
- 竹藪エリアからイノシシが侵入した場合は、WM柵の裾部分を補強して対策を講じることとした。



被覆電線



竹藪エリアの様子



3 設置資材(総延長250m、2段張り) ※WM柵設置済みの場合 (参考価格：税込)

資材名	規格	単価① (円)	数量② (個)	小計①×② (円)
電源装置	ソーラーパネル付属	49,500	1	49,500
柵線	500m巻き	5,750	1	5,750
メッシュガイシR200	50個/袋	8,239	3	24,717
ゲートハンドル	大型	583	2	1,166
緊張具	6個入り	1,100	1	1,100
危険表示板	1枚	462	2	924
被覆電線	50m巻き	9,500	1	9,500
資材費合計				92,657

4 対策結果の概要

- 河川を移動して前年の侵入箇所に近づくイノシシの姿は確認されたものの、水田への侵入は一度も確認されず、被害も発生しなかった。
- 今期、竹藪エリアからのイノシシの潜り込みによる侵入は一度も発生しなかった。



前年の侵入箇所に現れたイノシシ